

令和2年1月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「自動車の部分品」などが増加したものの、「自動車」、「石油製品」などが減少したことから、伸率（対前年同月比）23.3%の減少となった。また、輸入額は「原油及び粗油」などが増加したものの、「液化天然ガス」、「液化石油ガス」などが減少したことから、同8.1%の減少となった。

これにより差引額は、731億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	599億円	▲23.3%	1,330億円	▲8.1%	▲731億円	+9.8%
	2カ月連続の減少		7カ月連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)自動車の部分品	56億円	+15.4%	増加品目	(1)原油及び粗油		673億円	+5.4%
		(2)有機化合物	53億円	+6.8%		(2)石油製品		72億円	+77.5%
		(3)写真用・映画用材料	9億円	+31.5%		(3)非鉄金属鉱		23億円	+53.1%
	減少品目	(1)自動車	2億円	▲97.0%	輸入	(1)液化天然ガス		274億円	▲28.5%
		(2)石油製品	97億円	▲38.7%		(2)液化石油ガス		35億円	▲51.1%
		(3)科学光学機器	19億円	▲58.9%		(3)石炭		18億円	▲48.7%
	地域別動向				地域別動向	増加：大洋州			
	減少：西欧、アジア					減少：アジア、中東欧・ロシア等			

（参考）ドルレートは、109.30円（前年同月比0.2%、0.17円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。